



2026 年 8 月 10 日

各 位

会 社 名 株式会社フジオフードグループ本社
代 表 者 代 表 取 締 役 藤 尾 政 弘
(東証プライム コード番号 2752)
問 合 せ 先 取 締 役 藤 尾 英 雄
TEL 06-6360-0304

2026 年 12 月期第2四半期(中間期)業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

2026 年 2 月 13 日に公表いたしました 2026 年 12 月期第 2 四半期(中間期)業績予想と本日公表の実績値に差異が生じましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2026 年 12 月期第2四半期(中間期)業績予想と実績値との差異(2026 年 1 月 1 日～2026 年 6 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A) (2026 年 2 月 13 日公表)	百万円 16,156	百万円 210	百万円 179	百万円 69	円 銭 1.35
実 績 (B)	15,929	58	43	△113	△2.22
増 減 額 (B - A)	△227	△152	△135	△183	—
増 減 率 (%)	△1.4	△72.1	△75.8	—	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (2025 年 12 月 期)	15,674	250	161	13	0.26

2. 差異の理由

当中間連結会計期間の業績につきましては、原材料価格の高騰への対応として販売価格の改定を実施し、収益性の維持・改善に取り組みました。しかしながら、価格改定の影響等により来店客数が想定を下回って推移したことから、売上高は計画を下回りました。その結果、原価率は改善したものの、売上高の未達による影響を補うには至らず、営業利益及び経常利益についても前回発表予想を下回りました。また、親会社株主に帰属する中間純利益につきましては、上記の要因に加え、減損損失 62 百万円を計上したことにより、前回発表予想を下回る結果となりました。

なお、2026 年 12 月期第 3 四半期以降につきましては、店舗オペレーションの改善及び販売促進施策の強化による来店客数の回復に加え、食材原価及び人件費を中心としたコスト管理の徹底等による収益性の改善を見込んでいることから、現時点において通期連結業績予想の変更はありません。

以 上